



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年6月28日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 C O O (氏名) 石黒 靖規
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務・I R担当 (氏名) 加藤 久和 T E L 03-5764-5214
 四半期報告書提出予定日 2024年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	141,487	14.2	10,233	10.9	9,308	2.2	5,691	0.4
2024年2月期第1四半期	123,879	8.6	9,225	△6.2	9,104	△10.3	5,665	△12.9

(注) 包括利益2025年2月期第1四半期 5,581百万円 (△9.7%) 2024年2月期第1四半期 6,177百万円 (9.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	42.52	—
2024年2月期第1四半期	41.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	690,378	253,863	36.8
2024年2月期	622,734	251,274	40.4

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 253,863百万円 2024年2月期 251,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	287,250	16.2	21,200	19.0	20,450	17.5	12,300	14.6	91.92
通期	550,500	12.7	34,000	18.5	32,800	19.7	19,400	△9.5	144.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	146,500,000株	2024年2月期	149,500,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	12,637,502株	2024年2月期	15,693,727株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	133,835,150株	2024年2月期1Q	136,827,470株

(注) 自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」、「株式付与ESOP信託口」及び「従業員持株ESOP信託口」の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
商品別売上情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化やインバウンド需要の増加等により景気は緩やかに回復しているものの、ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢の悪化、中国経済の低迷、エネルギー価格や原材料価格の高止まりに加え、為替相場の変動など依然として先行きの不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、雇用・所得環境の改善が進む中、個人消費の回復が見込まれているものの、電気代や生活必需品などの物価上昇による生活防衛意識の高まりに加えて、人件費や物流コストの上昇、また、業態を超えた販売競争もあり、引き続き厳しい経営環境にあります。

そのような状況の中、当社は「新世代ホームセンター創造への挑戦～店舗の“再”活性化+事業領域の拡大～」を方針として、第3次中期経営計画（2023年度～2025年度）で掲げた各事業戦略を着実に推進しております。

当第1四半期連結累計期間における販売面につきましては、4月以降の気温上昇に伴ってエアコンや扇風機などの電気冷房機器が好調に推移しましたが、3月の全国的な気温低下や5月下旬の西日本の大雨など、天候不順の影響を受けました。DCMブランド商品につきましては、原材料価格の上昇と円安による仕入価格の上昇、物流コスト上昇などの影響を受けておりますが、環境に配慮した商品開発、節電や節約商品の新規展開、販促強化、エクспライズ㈱のPB商品(MAXZEN)の重点販売に取り組んでまいりました。

当社グループの新規出店につきましては1店舗、退店につきましては1店舗を実施しました。これにより、当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は840店舗となりました。

また、2024年1月9日付で完全子会社化した㈱ケーヨーにつきましては、当第1四半期連結累計期間において、DCMホールディングス㈱の連結業績に寄与いたしました。

なお、㈱ケーヨーにつきましては、2024年9月1日をもって、DCMを存続会社、ケーヨーを消滅会社とする吸収合併を実行する予定です。本合併により、グループとしての総合力を高め生産性をより一層向上させ、ひいては企業価値の更なる向上につなげてまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,414億8千7百万円（前年同期比114.2%）、営業利益は102億3千3百万円（前年同期比110.9%）、経常利益は93億8百万円（前年同期比102.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億9千1百万円（前年同期比100.4%）となりました。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸部門

気温上昇により、除草剤や刈払機などの雑草対策用品が好調に推移しましたが、3月の気温低下や4月以降の降雨の影響もあり、花苗や鉢花などは低調でした。その結果、売上高は278億3千7百万円（前年同期比121.2%）となりました。

② ホームインプラーブメント部門

DIY関連商品につきましては、プロ向けの商品は好調に推移しております。また、防災意識の高まりにより、家具転倒防止用品などの防災用品が好調に推移しましたが、木材・資材関連は低調でした。その結果、売上高は270億7千9百万円（前年同期比114.2%）となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

3月は部門全体で天候不順の影響を受けましたが、4月以降は気温上昇によりカー用品やレジャー用品が好調に推移しました。自転車用のヘルメットと犬猫フードを中心としたペット用品につきましては、前期の反動を受けて低調でした。その結果、売上高は201億2千2百万円（前年同期比116.6%）となりました。

④ ハウスキーピング部門

マスクなど衛生用品の需要低下によって、ハウスキーピング部門全体では低調だったものの、トイレットペーパーなどの紙関連商品は好調に推移しました。また、外出需要の増加により、ステンレスボトルや行楽用品なども好調でした。その結果、売上高は289億1千8百万円（前年同期比125.0%）となりました。

⑤ ホームファニッシング部門

3月は毛布などの冬物寝具が好調に推移しました。新規展開のDCMブランド商品は好調に推移しましたが、生活必需品の値上げや外出需要増加の影響などもあり、低調に推移しました。その結果、売上高は62億7千2百万円（前年同期比114.3%）となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

3月はファンヒーターなどの暖房用品、4月以降はエアコンや扇風機などの電気冷房機器が好調に推移しました。また、店頭におけるエクспライズのPB商品(MAXZEN)の重点販売の効果もあり、冷蔵庫等の家庭電器も好調でした。その結果、売上高は107億5千0百万円（前年同期比125.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、長期借入の実行や社債発行による現金及び預金の増加、季節的要因による商品の増加などから、資産合計は前連結会計年度末に比較して676億4千3百万円増加し、6,903億7千8百万円となりました。

負債残高は、長期借入の実行による借入金の増加や社債発行による増加、商品の増加に伴う買掛金の増加などから、負債合計は前連結会計年度末に比較して650億5千4百万円増加し、4,365億1千4百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加の一方、配当金支払いによる減少などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して25億8千9百万円増加し、2,538億6千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月12日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,755	143,853
売掛金	10,421	15,353
リース投資資産	995	981
商品	151,497	159,383
その他	11,445	13,104
貸倒引当金	△3	—
流動資産合計	268,112	332,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	272,192	272,671
減価償却累計額	△173,099	△174,732
建物及び構築物 (純額)	99,093	97,938
土地	96,678	101,612
リース資産	24,870	24,616
減価償却累計額	△11,553	△11,774
リース資産 (純額)	13,317	12,842
建設仮勘定	1,590	2,665
その他	46,388	46,306
減価償却累計額	△38,946	△39,181
その他 (純額)	7,442	7,125
有形固定資産合計	218,121	222,184
無形固定資産		
のれん	45,155	44,518
借地権	5,944	5,944
ソフトウェア	6,105	6,115
その他	16	15
無形固定資産合計	57,222	56,594
投資その他の資産		
投資有価証券	34,490	34,178
敷金及び保証金	40,671	40,614
繰延税金資産	1,928	2,141
長期前払費用	1,270	1,208
その他	1,203	1,066
貸倒引当金	△285	△285
投資その他の資産合計	79,278	78,923
固定資産合計	354,622	357,701
資産合計	622,734	690,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,794	31,675
電子記録債務	21,455	24,804
短期借入金	57,250	—
1年内返済予定の長期借入金	27,345	73,152
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
リース債務	1,451	1,423
未払法人税等	3,209	3,609
賞与引当金	2,752	2,826
契約負債	4,616	5,357
資産除去債務	29	29
その他	16,802	16,266
流動負債合計	168,707	169,146
固定負債		
社債	—	35,000
長期借入金	169,757	199,951
リース債務	15,094	14,763
繰延税金負債	1,100	1,160
再評価に係る繰延税金負債	167	167
退職給付に係る負債	5,523	5,217
役員株式給付引当金	182	192
株式給付引当金	385	381
資産除去債務	3,159	3,168
長期預り金	5,154	5,065
その他	2,226	2,299
固定負債合計	202,752	267,368
負債合計	371,460	436,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,973	19,973
資本剰余金	51,408	51,408
利益剰余金	192,532	191,662
自己株式	△18,327	△14,758
株主資本合計	245,586	248,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,617	7,414
繰延ヘッジ損益	25	5
土地再評価差額金	△1,955	△1,955
退職給付に係る調整累計額	—	113
その他の包括利益累計額合計	5,687	5,577
純資産合計	251,274	253,863
負債純資産合計	622,734	690,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	122,156	139,414
売上原価	80,887	91,358
売上総利益	41,269	48,055
営業収入		
不動産賃貸収入	1,722	2,073
営業総利益	42,992	50,129
販売費及び一般管理費	33,766	39,896
営業利益	9,225	10,233
営業外収益		
受取利息	24	21
受取配当金	68	133
為替差益	143	152
持分法による投資利益	187	—
その他	74	121
営業外収益合計	497	428
営業外費用		
支払利息	600	723
支払手数料	11	600
その他	7	28
営業外費用合計	619	1,352
経常利益	9,104	9,308
特別利益		
固定資産売却益	0	0
国庫補助金	—	20
その他	—	0
特別利益合計	0	21
特別損失		
固定資産除売却損	150	34
賃貸借契約解約損	—	13
その他	3	50
特別損失合計	154	98
税金等調整前四半期純利益	8,950	9,231
法人税、住民税及び事業税	2,284	3,632
法人税等調整額	999	△92
法人税等合計	3,284	3,539
四半期純利益	5,665	5,691
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,665	5,691

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	5,665	5,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	△202
繰延ヘッジ損益	△32	△20
退職給付に係る調整額	—	113
持分法適用会社に対する持分相当額	129	—
その他の包括利益合計	512	△109
四半期包括利益	6,177	5,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,177	5,581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月12日開催の取締役会決議に基づき、2024年4月30日付で、自己株式3,000,000株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ3,506百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財務諸表計上額 (注) 3
	ホームセンター事業	エクспライズ事業				
営業収益						
外部顧客への売上高	109,601	14,193	84	123,879	—	123,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	59	27	17,409	17,496	△17,496	—
計	109,661	14,220	17,493	141,375	△17,496	123,879
セグメント利益	9,275	△23	17,204	26,457	△17,231	9,225

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△17,231百万円は、セグメント間取引消去△17,094百万円、のれん償却額△136百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財務諸表計上額 (注) 3
	ホームセンター事業	エクспライズ事業				
営業収益						
外部顧客への売上高	127,300	14,122	64	141,487	—	141,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	52	201	4,448	4,702	△4,702	—
計	127,352	14,324	4,512	146,190	△4,702	141,487
セグメント利益	10,578	△21	4,186	14,743	△4,510	10,233

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△4,510百万円は、セグメント間取引消去△4,045百万円、のれん償却額△465百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません

3. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	22,977	18.8	27,837	20.0	65,917	13.7
ホームインプルーブメント	23,719	19.4	27,079	19.4	95,176	19.8
ホームレジャー・ペット	17,251	14.1	20,122	14.4	66,795	13.9
ハウスキーピング	23,132	19.0	28,918	20.8	99,029	20.5
ホームファニッシング	5,486	4.5	6,272	4.5	22,070	4.6
ホームエレクトロニクス	8,570	7.0	10,750	7.7	45,711	9.5
その他	3,307	2.7	3,887	2.8	14,916	3.1
商品供給高他	3,433	2.8	358	0.3	10,044	2.1
ホームセンター事業計	107,879	88.3	125,227	89.9	419,663	87.2
エクспライズ事業	14,193	11.6	14,122	10.1	61,258	12.7
その他の事業	84	0.1	64	0.0	388	0.1
合計	122,156	100.0	139,414	100.0	481,310	100.0

(注) 1. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他